

1. 件名：確率論的リスク評価（PRA）モデルに関する九州電力株式会社等との面談

2. 日時：令和2年1月30日（木）16：50～17：10

3. 場所：四国電力株式会社東京支社会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 布田検査評価室長、笠川室長補佐

技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 下崎技術研究調査官、伊東技術研究調査官、
濱口技術研究調査官、小城技術研究調査官
上田技術研究調査官、藤本技術参与

システム安全研究部門 渡辺技術研究調査官

九州電力株式会社 原子力発電本部

リスク管理・解析グループ 課長 他2名

四国電力株式会社 原子力本部

原子力保安研修所 原子力安全リスク評価グループリーダー 他2名

関西電力株式会社 原子力事業本部

原子力安全部門 安全技術グループ リーダー

三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

炉心・安全技術部 制御安全技術課 主席技師 他5名

一般財団法人電力中央研究所 原子力リスク研究センター

リスク情報活用推進チーム 上級特別契約研究員 他2名

5. 要旨

（1）九州電力株式会社（以下「九州電力」という。）から、配布資料（1）に基づき、玄海発電所3／4号機と大飯発電所3／4号機の確率論的リスク評価（PRA）モデルの主要な相違点について説明があった。

（2）今後、原子力規制庁が玄海発電所3／4号機のPRAモデルを確認する上で、より詳細な説明が必要なものについては、引き続き面談で確認していくこととした。

6. 配布資料

（1）玄海3／4号機PRAモデルと大飯3／4号機PRAモデルの主要な相違点（九

州電力資料)